

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)青果市場跡地活用事業新築	階数	地上7F
建設地	福岡県福岡市	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、市街化区域	平均居住人員	6,000 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、飲食店、工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2020年10月15日
敷地面積	80,264 m ²	作成者	山下太郎
建築面積	52,836 m ²	確認日	2020年10月16日
延床面積	194,307 m ²	確認者	川建 康



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み 88% (162 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>③上記+②以外の 88% (162 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>④上記+ 88% (162 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 3.5</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.5</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.6</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>敷地面積の約20%を緑化し(壁面緑化面積を含む)、周辺環境の向上に配慮しました。</p>		<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>・CO₂制御により外調機制御を行ったり、喫煙室を設けることで室内空気環境に配慮しています。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>・各設備において、信頼性の高い計画を採用しています。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>・LED照明を採用や、エネルギー消費量のモニタリングを実施できる設備を導入します。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>・節水型器具を採用したり、井水処理水を採用する計画としています。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される